

菜の花から始まるエコで環境にやさしい農業を目指す (秋田運送株式会社)

<法人の概要>

所在地：秋田県秋田市

設 立：昭和24年12月

資本金：9,500万円 売上高：6,000万円（平成25年）

役 員：9名（うち農作業従事1名）

従業員数：130名、うち農業従事者15名

経営面積：142ha 営農作物：菜の花・そば・大豆

農業開始時期：平成23年4月



遊休化解消取り組み中の農地



耕作可能となった農地

<農業参入に至った経緯・動機>

平成15年から一部関東圏内で始まったトラック等大型車両の排ガス規制が強化され、バイオディーゼル燃料の必要性を感じていた折り、改正農地法の施行により一般法人の農業参入が可能となり、自社でバイオ燃料の生産、販売まで行えば効率的な経営が可能になると考え農業経営に参入した。

<農業参入することを決めてから営農開始まで>

農地については県、市町村農業委員会の仲介により、遊休化していた農地を確保し、菜種の栽培に取り組むこととした。菜種はバイオディーゼル燃料の原料となるほか、菜の花は景観作物として地域の景観向上にもつながることを期待した。

＜営農開始から現在まで＞

現在、菜種から食用油やバイオディーゼル油を製造し、搾油の際の油かすを肥料や飼料として活用する環境にやさしい農業に取り組んでいる。

また、遊休農地を解消することにより地域とのつながりも強まり、地元農家から様々なアドバイスなどももらえるようになった。

＜今後の農業経営の展開方向＞

現在は、法人代表者が代表取締を務める農業生産法人（合）大地と作業委託など連携しながらソバの営農を行っているが、今後もこうした連携を強化しながら、菜種、そばの加工品の開発販売や菜等の生産にも取り組んでいきたいと考えている。

＜今後農業に参入しようとしている法人へのアドバイス＞

農業に対する情熱は当然必要であるが、コスト意識等の経営感覚をもって取り組むことも重要。また、補助事業等の支援も積極的に活用すべきである。



遊休化が解消された農地



大型トラクターフル稼働で遊休農地解消